

## 2021年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月2日

上場会社名 株式会社 アインホールディングス 上場取引所 東 札  
 コード番号 9627 URL <https://www.ainj.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 喜一  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 水島 利英 TEL 011-814-1000  
 四半期報告書提出予定日 2021年3月17日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（四半期決算補足資料は、適宜、当社ホームページに掲載いたします。）  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年4月期第3四半期の連結業績（2020年5月1日～2021年1月31日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	220,135	0.0	6,813	△45.3	7,845	△39.7	4,575	△35.7
2020年4月期第3四半期	220,085	8.7	12,447	4.5	13,008	4.7	7,110	4.9

（注）包括利益 2021年4月期第3四半期 4,603百万円（△35.2%） 2020年4月期第3四半期 7,100百万円（5.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	129.16	—
2020年4月期第3四半期	200.71	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第3四半期	198,772	113,657	57.2
2020年4月期	193,451	111,003	57.3

（参考）自己資本 2021年4月期第3四半期 113,607百万円 2020年4月期 110,915百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2021年4月期	—	0.00	—		
2021年4月期（予想）				55.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年4月期の連結業績予想（2020年5月1日～2021年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	2.5	9,200	△42.7	10,000	△40.6	5,000	△45.5	141.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付書類 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期3Q	35,428,212株	2020年4月期	35,428,212株
② 期末自己株式数	2021年4月期3Q	816株	2020年4月期	728株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年4月期3Q	35,427,426株	2020年4月期3Q	35,427,484株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年5月1日～2021年1月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの、個人消費等は持ち直しの動きがみられ、先行きについても各種政策の効果等により持ち直しの動きが続くことが期待されています。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局及びコスメ&ドラッグストアの新規出店による事業拡大に加え、コストの見直しにより、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

店舗においては、患者様・お客様に安心してご利用いただくべく、感染予防策を徹底するとともに、従業員に対しても感染予防策の実施を徹底することにより、継続的な医療・小売サービスの提供に努めております。

また、2020年12月には、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けて、当社グループが取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定しました。人々の健康や美に貢献する事業を通じ、企業としての持続的な成長と、社会・環境・経済価値を創出し、サステナビリティ経営の実現に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高が2,201億3千5百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益は68億1千3百万円(同45.3%減)、経常利益は78億4千5百万円(同39.7%減)となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億7千5百万円(同35.7%減)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (ファーマシー事業)

段階的に施行されている「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」(改正薬機法)により、昨年9月から一定のルールの下において、全国でオンライン服薬指導が可能となりました。当社グループでは、引き続き、「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能を発揮するべく、地域医療連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導の強化を行うとともに、患者様が住み慣れた地域で安心して医療提供を受けられるよう、調剤薬局全店においてオンライン服薬指導に対応可能な体制を整えております。

昨年11月には、オンライン服薬指導から患者様の手元に医薬品を届けるまでに至る将来的な医療サービスモデルの構築を目指し、福岡市の能古島においてドローンによる処方箋医薬品配送の実証実験、長野県伊那市においてビデオ通話システムや医療機器を搭載したヘルスケアモビリティを利用したオンライン服薬指導を実施いたしました。

営業開発においては、大型薬局の積極的な出店とM&A基準の引き上げに加え、小規模店舗の撤退を出店戦略とし、さらなる事業規模の拡大と店舗運営の効率化を推進しております。

新型コロナウイルス感染症の影響による長期処方増加により処方箋単価が上昇する一方で、処方箋枚数は減少したこと、店舗運営の効率化を目的とし前期64店舗閉店・事業譲渡した影響もあり、減収減益となりましたが、現在、処方箋枚数については、緩やかな回復傾向にあります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,942億8千4百万円(前年同期比1.3%減)、セグメント利益は137億6千9百万円(同11.6%減)となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計15店舗を出店し、12店舗の閉店、34店舗の事業譲渡により、当社グループにおける薬局総数は1,057店舗となりました。

#### (リテール事業)

コスメ&ドラッグストア事業は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、厳しい市場環境が続いております。当社グループでは、このような環境において、コスメ&ドラッグストア「アインズ&トルペ」の出店を大都市圏の中でも好調なベッドタウンのターミナル駅周辺等をターゲットとする出店戦略に転換を行い、各店舗に応じた戦略的な売り場づくりを行っております。また、「AINZ&TULPE WEBSTORE 公式ECサイト」を通して、顧客の利便性ならびにサービスの向上を図っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、143億8千6百万円(前年同期比28.3%減)、セグメント損失は15億7百万円(前年同期は5億7千5百万円の利益)となりました。

同期間の出店状況は、7店舗を出店し、5店舗を閉店したことで、コスメ&ドラッグストア総数は65店舗となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業においては、昨年3月に売店事業を取得したことにより、売上高は115億4千2百万円(前年同期比244.9%増)、セグメント損失は4億7千9百万円(前年同期は1億7千万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より53億2千1百万円増の1,987億7千2百万円となりました。主な要因は、のれん及び未収入金が減少した一方で、現預金及び投資その他の資産が増加したことによるものであります。

負債の残高は、26億6千7百万円増の851億1千4百万円となりました。

短期及び長期借入金の残高は、64億6千7百万円増となる125億4千2百万円となりました。

純資産の残高は、26億5千4百万円増の1,136億5千7百万円となり、自己資本比率は0.1ポイント減少となる57.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月3日発表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,321	54,756
受取手形及び売掛金	13,653	11,866
商品	15,035	15,320
貯蔵品	286	277
短期貸付金	208	135
未収入金	8,997	6,724
その他	3,299	3,165
貸倒引当金	△1	—
流動資産合計	87,802	92,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,609	16,333
土地	10,960	10,401
その他(純額)	3,304	3,757
有形固定資産合計	30,874	30,492
無形固定資産		
のれん	42,123	39,570
その他	2,792	3,348
無形固定資産合計	44,916	42,919
投資その他の資産		
投資有価証券	2,295	2,389
繰延税金資産	4,211	4,250
敷金及び保証金	19,144	19,390
その他	5,834	8,611
貸倒引当金	△1,644	△1,528
投資その他の資産合計	29,841	33,113
固定資産合計	105,632	106,526
繰延資産	15	—
資産合計	193,451	198,772

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	47,187	46,700
短期借入金	3,642	3,975
未払法人税等	3,356	375
預り金	13,094	14,240
賞与引当金	2,338	1,082
役員賞与引当金	16	7
ポイント引当金	463	496
その他	4,600	4,318
流動負債合計	74,700	71,197
固定負債		
長期借入金	2,432	8,567
退職給付に係る負債	3,124	3,278
その他	2,189	2,071
固定負債合計	7,747	13,917
負債合計	82,447	85,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,894	21,894
資本剰余金	20,500	20,500
利益剰余金	68,758	71,385
自己株式	△2	△2
株主資本合計	111,151	113,778
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77	△49
退職給付に係る調整累計額	△159	△121
その他の包括利益累計額合計	△236	△170
非支配株主持分	88	50
純資産合計	111,003	113,657
負債純資産合計	193,451	198,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
売上高	220,085	220,135
売上原価	184,284	186,976
売上総利益	35,801	33,159
販売費及び一般管理費	23,353	26,346
営業利益	12,447	6,813
営業外収益		
受取利息	46	33
受取配当金	36	43
受取手数料	12	15
不動産賃貸料	304	134
業務受託料	134	141
補助金収入	—	466
その他	301	454
営業外収益合計	835	1,288
営業外費用		
支払利息	53	37
債権売却損	49	58
不動産賃貸費用	101	113
その他	70	47
営業外費用合計	274	256
経常利益	13,008	7,845
特別利益		
固定資産売却益	34	18
事業譲渡益	313	383
関係会社株式売却益	—	111
保険解約返戻金	0	11
その他	1	30
特別利益合計	349	555
特別損失		
固定資産除売却損	415	216
減損損失	84	64
店舗休止損失	—	52
その他	193	163
特別損失合計	693	497
税金等調整前四半期純利益	12,664	7,903
法人税等	5,554	3,366
四半期純利益	7,109	4,537
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△38
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,110	4,575

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	7,109	4,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	27
退職給付に係る調整額	14	38
その他の包括利益合計	△8	65
四半期包括利益	7,100	4,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,101	4,641
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△38

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年5月1日至2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファーマシー 事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	196,753	20,071	3,260	220,085	—	220,085
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	85	85	△85	—
計	196,753	20,071	3,346	220,171	△85	220,085
セグメント利益又は損失(△)	15,569	575	△170	15,974	△2,966	13,008

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,966百万円には、全社費用が4,405百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△1,514百万円、セグメント間取引消去が75百万円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の管理部門及びシステム物流部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年5月1日至2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ファーマシー 事業	リテール事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	194,284	14,386	11,464	220,135	—	220,135
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	78	78	△78	—
計	194,284	14,386	11,542	220,213	△78	220,135
セグメント利益又は損失(△)	13,769	△1,507	△479	11,782	△3,936	7,845

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,936百万円には、全社費用が4,764百万円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が△947百万円、セグメント間取引消去が120百万円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の管理部門及びシステム物流部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。